

法善寺だより

第3号

発行所

愛媛県北条市辻
南日町 1358
日蓮宗法善寺
TEL(2)0812

とじて保存しましょう

春初御消息

春の初御悦び、木に花のさくがごとく、
山に草の生出るがごとしと我も人も悦びて候



身延、七面山より初日の出御来光を拜す

新年を迎えて

この御書は日蓮大聖人が身延山で六十一歳のお正月にお書きになられた、檀信徒の上野氏へ新年のお悦びを述べられたものです。冬の間、枯木のような光が木の枝も、春のうららかな陽光が緑となって美しく花を開きます。これは桜の木に本来そなわった本性が因となり、春という縁にあって花を開くのです。私たちが人間の日常生活の中ではあまりにも忙がしいために、仏さまらしい心組みや行動は、なかなか

か発見し難いのですが、しかし、何かの縁によれる時、心の奥底にひそむ「仏さまの心」が飛び出してきて、うるわしい心と行動となって人々の心を打ちます。大聖人はこのようなお気持ちから新年を悦ばれたのだと思います。「一年の計は元旦に有り」と申します。しかし、よく計画だけを立てて人に言うだけで一向に実行しようと思わない人がありますが、一度心に決めたなら、新年の希望にみちた計画が、春に花の開く様に又秋には実の結ぶ様に、お題目を心の柱として努力しましょう。そして又、正月は何事も一新して明日に生きる機会でもあります。過ぎ去った年の出来事は流れる水のように、再び返って来るものはありません。過ぎ去った年の善悪、苦楽、いろいろな事があったたであらうけれども、それに纏られて身動きの出来ないような新年であってはならないのです。過去の楽しさに溺れて、その夢を見続けていくのも間違ひなら、苦しさに掻きかかれてあきらめるのもいけないことなのです。私達の明日は今日の已れのなし

たわざによって生まれてくるもので、已れの不幸を嘆く前に、その原因や条件を省みる必要があるのではないのでしょうか。苦しい苦しいと言いつつながら、同じ原因や条件を繰返しては、楽になれるはずはないのです。ありがたいことに世の中は常に流れ動いています。だから、現在楽しいからといって手放して楽も出来ない代わりに、苦しいからといって悪戯する必要もありません。私たちの人生はその場に釘付けにされたものでもなく、常により善い原因と条件を求めて動らく者には幸福が約束されているのです。しかし、人間は凡夫の故に判断を誤まり、間違った原因と条件によって思わぬ迷路に踏み込む場合が多いのです。そこに正しい宗教を学び、修業する必要が生ずるわけです。宿命的な人生観や公式的に誰かが決めた社会観にとらわれる事なく、勇気と希望をもって、新しい年の一頁からわが最良の人生を歩む為、私たちはこの御書を、自分に下さったものとして、この一年間さらに精進しましょう。

身延山参拝旅行御案内

例年好評をいただいております身延山参拝の旅を、本年は左記の通り実施することになりました。本年は特に宗祖御入滅七百週忌の年にあたりますので、今までに総本山にお参りになってない方も、この五十年に一度の御遠忌を機会に、ぜひ多数御参加下さいませよう御案内申し上げます。

記

出発 四月十六日(木)午後二時集合
本型にて道中安全祈願後
午後三時二十分北条駅出発

行先 第十六回身延山全国大会参加
静岡霊跡寺院参拝と稲根、芦の湖観光
(三泊四日)の旅

帰山 四月十九日(日)
午前八時半法善寺解散

会費 未定。後日くわしい日程が決まりましたら、申し込み案内をお配りいたします。

締切 二月末日(但し定員になり次第しめきりますのでお早目にお申し込み下さい。)

主催 日蓮宗法善寺聖徒団

信仰問答

問い 寒修行はどんないわれがあつて行なっているのですか。
答え 寒修行(寒行)は極寒の間一ヶ月行なう修業で、日蓮宗では主に左記のような意味合いで例年行なわれているわけです。

一、法界供養の為
〇仏祖諸天善神にお題目(法味)を言上し、天下泰平国土安穩を祈念する為。
〇十方法界万靈供養の為。
一、選擇する御尊家の御先祖様の供養をし、家門繁栄、除災得幸を祈念する為。
一、法華経に説かれる「般若を打つて四方に宣令して法を求め云々」の求道者の道を参加者が実践し信心倍增、罪障消滅する為。
一、すべての人々の心の中にある仏性を恭敬礼拝し、広く市民にお題目の縁を結び、お題目信仰を弘める為です。

※当山の寒修行は小寒の一月六日より、三十日までの二十五日間、行なわれます。市内の檀信徒の方々も、寒い冬夜の中を歩く寒修行一行を、暖かい合掌でお迎えしていただきたいものです。

一・二・三月の行事

正月元日午後七時より
〇新年盛運祝禱金奉行
一月四日より
〇御年始まわり
太歳札と曆をお配りします。
一月六日午後七時より
〇寒修行始まる
如説修行、各家御安泰と心願成就の為、よるって御参加の程お願いいたします。

二月三日午後七時より
〇節分屋敷厄除折善会奉行
家内安全、厄年の厄払い。
車の交通安全祈願等希望の方は前日までにお申し込み下さい。
なお、当日参詣の方には全員、厄除けの福豆を差し上げます。

三月十六日午後七時より
〇宗祖日蓮大聖人御降誕会奉行人入学児童の学業成就祈願
宗祖御伝記のスライド等上映。
三月十八日より廿四日まで
〇春季彼岸会
彼岸入りより一週間、御檀家へ御先祖の御同向に伺がいます。



(毎月の信行会)

一日 その月盛運祈願祭
十二日 宗祖御恩唱題行
二十三日 清正公御恩唱題行
◎毎月一日には、除災得幸と交通安全の、肌守り授与。
◎毎月の信行会や行事には、修行の為、よるって御参詣下さい。

◆あながき◆
檀信徒の皆様、新年あけましておめでとございます。
お元氣で元息をお迎えになられたことと思います。
今年はずいぶん、十二支の上からは酉年にあたります。酉(とり)は本来「みのる」とか「なる」という意味を持っており、鶴とは直接の関係はないそうです。
いつの頃からか、酉が鶴と結びつき、現在ではカレンダーや賀状などに鶴の絵が、さかんに用いられるようになったのです。
本年は酉年にあやかっつて、大いに(みのり)ゆたかな年となるよう、お互いに努力、協力し合っつてまいりましょう。

合家